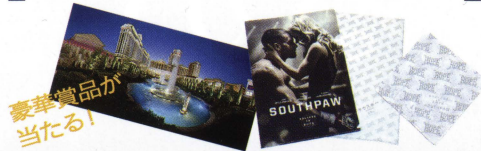


日本全国号泣が止まらない！
感動コメントキャンペーン実施中！



2016年最高の感動体験を投稿して、感動の輪を広げよう！
伝説のボクサーと家族の再生の物語、映画「サウスポー」を
ご覧になった方と本作に期待を寄せていただける方を対象
に、コメントを募集します。最高に熱いコメントを投稿してい
ただいた方には、感動グッズ、または人生やり直しグッズをプレ
ゼント！詳しくは公式HPへ！ southpaw-movie.jp



ジェイク・ギレンホルのボクサー姿に世界が驚愕！！

アカデミー賞を賑わすキャストと監督、そしてエミネムによる傑作の誕生！

主演は、『ナイトクロウラー』から一転、6か月に及ぶ過酷なトレーニングでボクサーの体を作り上げたジェイク・ギレンホル。共演は『スポ
ットライト 世紀のスcoop』でオスカー候補になったレイチェル・マクアダムス、そして『大統領の執事の涙』のフォレスト・ウィテカー。監督は『ト
レーニングデイ』『イコライザー』の鬼才アントワーン・フークア。まさに、アカデミー賞を賑わすキャストとスタッフの錚々たる面々が集結。さらに、
この物語は主題歌「Phenomenal」を歌うエミネムの半生が下敷きになっていることでも話題を呼んでいる。2016年、全ての大人たちに捧ぐ
【心を掴まれる】傑作が誕生しました。

SOUTHPAW

出演：ジェイク・ギレンホル フォレスト・ウィテカー レイチェル・マクアダムス
ナオミ・ハリス カーティス・'50Cent'・ジャクソン ウーナ・ローレンス
監督：アントワーン・フークア 脚本：カート・サッター
主題歌：エミネム「Phenomenal」(ユニバーサル ミュージック) 音楽：ジェームズ・ニュー
宣伝：KICCORIT 配給：ポニーキャニオン
2015年 / アメリカ 英語 / スコープサイズ / 124分 / ドルビー・デジタル / 原題：SOUTHPAW
SOUTHPAW-MOVIE.JP
Artwork © 2015 The Weinstein Company LLC. All Rights Reserved.

JKA 日本感動協会 推薦

※マスコミ感動率92.1%…2016年4月に行われた本作のマスコミ用の試写会におけるアンケート結果。
「号泣」「ほろほろ」「じんわり」3タイプの泣き結果が全体の92.1%を占めた。

涙を取り戻せ。
彼が「世界最高のボクサー」の人生(サウスポー)。
家族の絆を取り戻すための闘い。涙の物語。

心を掴む。

【2016年、全ての闘う大人に捧ぐ勇気の讃歌、心を掴まれた21人の証言】

「ナイトクロウラー」
ジェイク・ギレンホル

「大統領の執事の涙」
フォレスト・ウィテカー

「きみに読む物語」
AND レイチェル・マクアダムス

サウスポー

SOUTHPAW

監督：アントワーン・フークア「トレーニングデイ」

脚本：カート・サッター 主題歌：エミネム「Phenomenal」(ユニバーサル ミュージック)

6.3 FRI

SOUTHPAW-MOVIE.JP

Artwork © 2015 The Weinstein Company LLC. All Rights Reserved.

変えられないことなんて、何もない。

マスコミ
感動率
92.1%

6月3日[金]感動のロードショー！

【数量限定】ボクシンググローブ型携帯クリーナー付キーホルダー ¥1,400(税込)

特別鑑賞券好評発売中！

※特典は鑑賞券1枚につき1つ。 ※なくなり次第終了。
※一部劇場を除く。



渋谷HUMAXシネマ

TEL 03 (3462) 2 5 3 9

感涙の21人、心の叫びが聞こえるか!!

久々にいい感動の映画を観た。ボクサーがなぜ体をそぎ落としてあそこまで戦うのか、この映画を観ると分かる。小さな感動がボディブローのように効いてくる。これこそが本当の感動映画だ。

徳光和夫

(フリーアナウンサー)

実は主人公はサウスポー(左構え)では無くオーソドックス(右構え)。タイトルの理由は最後に判る! ファイトシーンの迫力リアリティー。俳優陣の素晴らしい演技。特に主人公とトレーナーのシーンはボクシングを少し知る者には共感の演技!

片岡鶴太郎

(俳優、画家)

ジェイク・ギレンホールは、いつも魅了してくれる。今回は凄い! 凄すぎる!

関根 勤

(タレント)

「全てを失くした時に何が見つかるのか?」それを問う勇気を与えてくれる映画。

紀里谷和明

(映画監督)

とても感情移入できる内容で自分達夫婦には重なる点がとても多くて感動した。改めて妻、そして家族の支えがあり一人で戦っているんじゃないんだと痛感。ファイターをはじめ、多くの人が観るべき作品。

山崎秀晃

(K-1ファイター)

ボクシングの試合の臨場感がリアルに表現されていて、支えてくれる家族の存在が力になるというのは、現役の自分にとっても共感できました。この作品は、目標を持って一生懸命頑張れば、未来は自分自身で変えられる事を教えてくれる映画です。

山中慎介

(WBC世界バンタム級チャンピオン)

大切なものを失い、大切なものの為に戦うビリーには心を掴まれました。自分のためだけに戦う者より、誰かの為に戦う者に勝るものはないと思いました。

柳ゆり菜

(女優)

どうしてボクシング映画ってこんなに私たちを惹きつけるんだろう。成功、挫折、家族愛、苦闘、情熱、再起。人生のすべてがこの映画には詰まっています。

佐々木俊尚

(作家・ジャーナリスト)

あくまで僕の感想ですが、繰り出すパンチは迫真で試合の臨場感は圧倒的でした。リング内外の全てのドラマに説得力があり、心と身体(カラダ)の痛みが伝わってきます。ボクシングファンもそうでない人も、おそらく拳を握りしめてラストを迎えることになると思います。

森川ジョージ

(漫画家「はじめの一步」)

「男の子が大好きな“ボクシングの映画”でしょ?」と思っているなら大間違いだ。これは妻を失った夫の、そして娘を愛する“1人の父親の映画”だ。やっぱりジェイク・ギレンホールは最高だ!

赤ペン瀧川

(なんでも添削家)

自らの経験と重なり、コーチの言葉の数々が胸に響くと共に共感しました。ボクシングの場面は本当の試合会場にいる程の臨場感。ボクサー以外にも、解説者、レフェリーなど、あらゆる部分の描写にこだわり抜いているのがわかります。

大橋秀行

(大橋ボクシングジム会長)

この映画は単なるボクシング映画ではない。つらい境遇を乗り越えて再起する男のストーリー。ジェイク・ギレンホールが演じる主人公のボクシング世界チャンピオンが妻を失い、娘とも離ればなれとなり、いたたまれない気持ちになった。ささえとなる家族の存在を失うということは考えられない。あらめて妻、娘の存在に感謝。

魔装斗

(元K-1世界チャンピオン)

孤独と戦い、自分を追い詰める。守るために孤独と生きる。孤高の男の声なき姿に涙が止まらない。何が幸せか、守りたいものを掴むことが出来るのか、最後まで目が離せない。

矢沢 心

(女優)

『プリズナース』『ナイトクロラー』から「サウスポー」と立て続けのジェイク・ギレンホールの圧倒的な企てに畏敬の念を感じてしまう。娘の幸せの為に、妻との約束を果たす為にリングに向かう勇姿を観て欲しい。

武 正晴

(映画監督「百円の恋」)

大きな挫折を経験したからこそ見える最後の景色は、涙なしには見る事ができませんでした。人生を通して誰もが経験する、失敗や挫折、諦めないこと、そして必ず乗り越えていけるということ。ビリーが人生をかけて教えてくれる、素晴らしい作品でした。

立石晴香

(女優)

嫉妬、裏切り、挫折、別れ、絶望、孤独……。おおよそ男がこの世で味わう、痛みが詰まっている。それでも再生出来るのだろうか? これはただのボクシング映画でない、リアルな福音書である。この映画を分かる女性には、間違いなく素敵なお人だろう。

李闘士男

(映画監督「ボックス!」)

私の夫もプロ野球の世界で闘い、プレッシャーの中、緊張が緩む事のない毎日を過ごしています。いかなる結果でも変わらず笑顔で迎えてくれる娘と息子の存在がまた頑張ろうという原動力になっています。我が子への底知れぬ深い愛情で絶望の淵から復活し再出発するビリーの姿は、涙なしに見る事が出来ませんでした。

亀井京子

(フリーアナウンサー)

なんとエネルギーに満ち溢れた映画だろう! ジェイクギレンホールの演技に圧倒された!! 思わず客席から立ち上がりスクリーンに拍手を浴びせたくなったほどだ!

竹中直人

(俳優、映画監督)

格闘技に必要なのは昨日の自分に勝つこと。私もビリー・ホープのように昨日までの自分を変えたい。作品のシーン一つ一つが自分と重なり物語にのめり込みました。こんなに感動するボクシング映画観たことない!

高野人母美

(モデル・プロボクサー)

いつものボクシング映画だとノーガードで観ていたら、思わぬところから思わぬパンチが飛んできた。この手の“重いパンチ”には慣れっ子だったはずが、ジェイク・ギレンホールのスイッチした“想いパンチ”にノックアウトさせられた。

小島秀夫

(ゲームデザイナー)

この映画はボクシングだけじゃない! 僕の彼女をこの映画に連れて行ったら完全に惚れていたよ。

アダム・レヴィーン

(マルーン5 メンバー)

※ 順不同敬称略